

■米国：ニューヨーク州が需要家集約制度を本格運用

ニューヨーク州公益事業委員会は 2016 年 4 月 20 日、需要家集約制度（CCA : Community Choice Aggregation）を州全体で本格的に実施することを決定した。CCA とは、地方自治体が小口需要家を対象として需要集約および条件交渉を行い一括して小売事業者を変更する制度であり、ニューヨーク州では 2015 年から Westchester 郡において実証試験を行っていた。州公益事業委員会の Audrey Zibelman 委員長は、「コミュニティ主導のイニシアティブは、州が進めるエネルギービジョン改革（REV）達成のための重要なツールだ」と述べている。なお、実証試験である Westchester パワープログラムでは、対象となる 20 の地方自治体のうち 14 自治体が再エネ 100%のメニューを選択していた。